

2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社タツミ  
 コード番号 7268 URL <https://www.tatsumi-ta.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伏島 利行  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)木村 英典 (TEL)0284-71-3131  
 定時株主総会開催予定日 2022年6月21日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	6,130	6.1	△295	—	△288	—	△203	—
2021年3月期	5,779	△9.0	△229	—	△229	—	△344	—
(注) 包括利益	2022年3月期 △129百万円 (—%)		2021年3月期 △359百万円 (—%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	△33.91	—
2021年3月期	△57.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	8,480	3,614	32.5	459.23
2021年3月期	8,693	3,743	32.6	473.16
(参考) 自己資本	2022年3月期 2,753百万円		2021年3月期 2,836百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	△355	△59	62	851
2021年3月期	△123	△437	892	1,176

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—		—	

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	△22.4	10	—	△5	—	△5	—	△0.83
通期	6,250	1.9	50	—	25	—	15	—	2.50

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期	6,000,000株	2021年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期	4,827株	2021年3月期	4,827株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	5,995,173株	2021年3月期	5,995,173株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	5,336	7.7	2	—	50	—	26	—
2021年3月期	4,956	△10.9	△45	—	△7	—	△205	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	4.47	—
2021年3月期	△34.33	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2022年3月期	6,824	—	3,402	—	49.9	—	567.53	
2021年3月期	6,861	—	3,382	—	49.3	—	564.14	

(参考) 自己資本 2022年3月期 3,402百万円 2021年3月期 3,382百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	2,100	△29.0	15	△79.6	10	△78.5	1.67	
通期	5,100	△4.4	50	△0.7	30	11.9	5.00	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 企業集団の状況 .....	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(収益認識関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
5. その他 .....	14
役員の異動 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により、企業の生産活動や個人消費に持ち直しの動きが見られましたが、新たな変異株の流行や資源価格の高騰もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な取引先である自動車業界では、新車販売台数が前年を下回りました。半導体不足や東南アジアからの部品供給不足により自動車各社が稼働調整を実施したことが要因で、この状況は今後も続くことが予想されます。

このような経済環境のなか、当連結会計年度の当社グループの連結業績は、売上高は6,130百万円（前期比6.1%増）、営業損失は295百万円（前期は229百万円の営業損失）、経常損失は288百万円（前期は229百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は203百万円（前期は344百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産の合計は、8,480百万円（前連結会計年度末8,693百万円）となり、213百万円減少しました。流動資産は3,886百万円となり504百万円減少し、固定資産は4,593百万円となり290百万円増加しました。

当連結会計年度末における負債の合計は、4,866百万円（前連結会計年度末4,950百万円）となり、83百万円減少しました。流動負債は4,112百万円となり42百万円減少し、固定負債は753百万円となり40百万円減少しました。

当連結会計年度末における純資産の合計は、3,614百万円（前連結会計年度末3,743百万円）となり、129百万円減少しました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、325百万円減少し851百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、営業活動の結果支出した資金は、355百万円（前期は123百万円）となりました。これは主に、未払金の減少によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、投資活動の結果支出した資金は、59百万円（前期は437百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、財務活動の結果得られた資金は、62百万円（前期は892百万円）となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率 (%)	37.8	32.6	32.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	18.7	23.9	19.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	886.5	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	0.2	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注5) 2021年3月期及び2022年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率とインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染動向やウクライナ情勢により、世界経済は依然予断を許さない状況となっております。当社グループの主要な取引先である自動車業界では、半導体等の部材不足による減産が継続することが懸念されます。

このような環境のなか、2023年3月期の通期連結業績につきましては、売上高は6,250百万円(前期比1.9%増)、営業利益は50百万円(前期は295百万円の営業損失)、経常利益は25百万円(前期は288百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は15百万円(前期は203百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)と予想しております。

また、2023年3月期の配当予想につきましては、現段階では未定とさせていただき、自動車の半導体不足の今後の影響を慎重に見定めた上で予想が可能となった段階で速やかに公表いたします。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

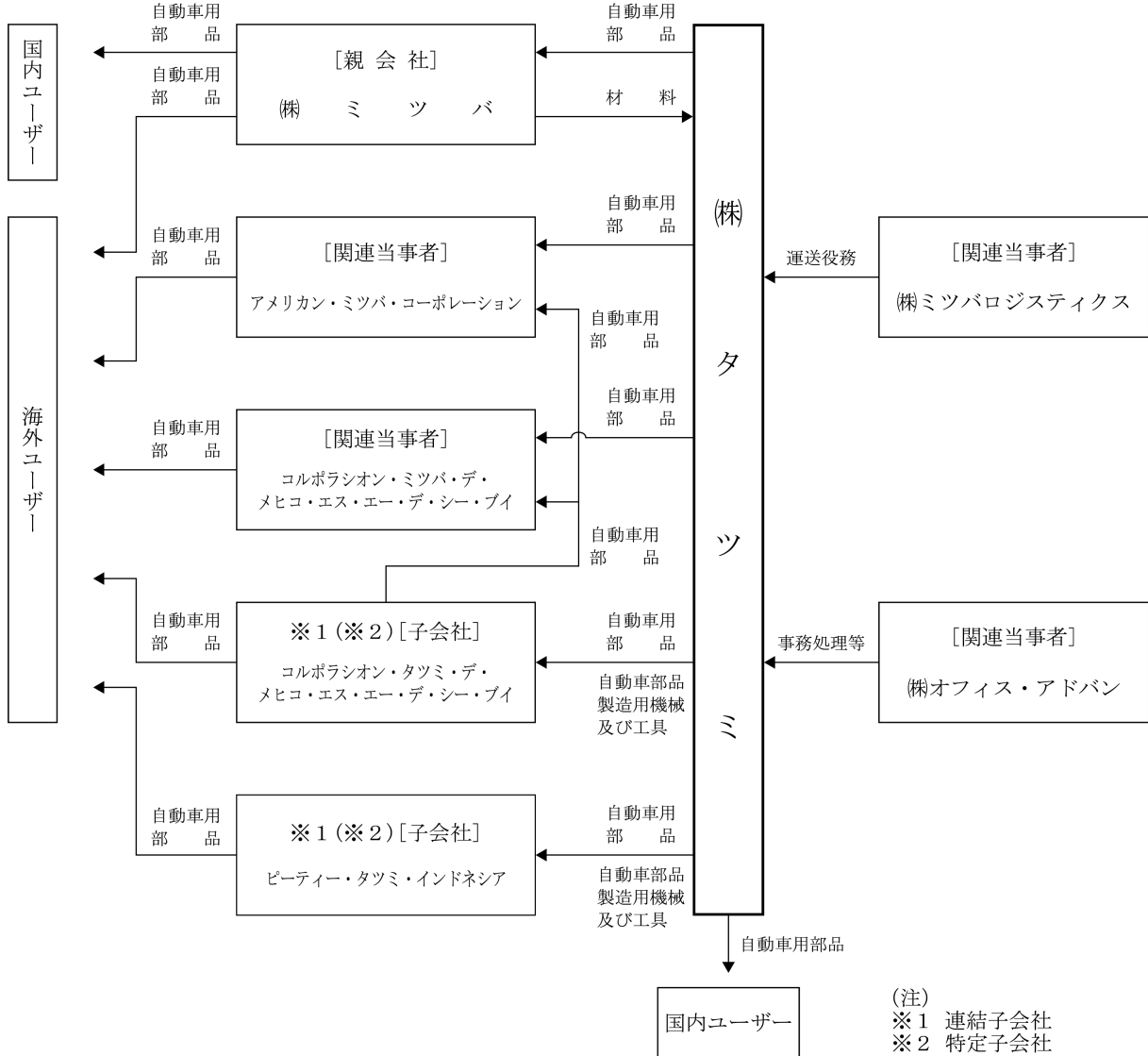
2. 企業集団の状況

当社グループは、当社（株タツミ）及び連結子会社2社（コルポラシオン・タツミ・デ・メヒコ・エス・エー・デ・シー・ブイ、ピーティアー・タツミ・インドネシア）により構成されており、自動車の電装品用部品及びブレーキ用部品の製造並びに販売を主な事業として取り組んでおります。

両社は当社の特定子会社になります。

また、当社グループは親会社である株ミツバが形成している企業グループの輸送用機器関連事業の一角を担っております。

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を適用して連結財務諸表を作成しております。

なお、当社グループは、将来の国際会計基準の適用に向け、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,176,738	851,575
受取手形及び売掛金	924,174	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	792,725
電子記録債権	793,606	673,184
商品及び製品	113,447	78,889
仕掛品	367,936	440,984
原材料及び貯蔵品	593,300	669,418
未収入金	348,640	297,097
未収法人税等	254	-
その他	72,901	82,914
流動資産合計	4,391,000	3,886,790
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,062,683	3,168,052
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,957,348	△2,053,303
建物（純額）	1,105,335	1,114,748
構築物	179,988	180,399
減価償却累計額	△149,562	△152,804
構築物（純額）	30,426	27,595
機械及び装置	6,029,395	6,223,847
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,591,641	△4,618,474
機械及び装置（純額）	1,437,754	1,605,372
車両運搬具	23,797	27,956
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,376	△23,721
車両運搬具（純額）	3,421	4,234
工具、器具及び備品	558,455	569,470
減価償却累計額及び減損損失累計額	△476,875	△511,891
工具、器具及び備品（純額）	81,579	57,578
土地	249,490	260,950
リース資産	524,949	872,492
減価償却累計額及び減損損失累計額	△177,778	△240,911
リース資産（純額）	347,171	631,580
建設仮勘定	579,505	416,787
有形固定資産合計	3,834,683	4,118,848
無形固定資産		
借地権	4,892	4,892
ソフトウェア	2,261	2,087
その他	847	847
無形固定資産合計	8,001	7,827

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	43,466	34,412
長期前払費用	8	2,964
退職給付に係る資産	311,875	321,120
繰延税金資産	17,304	13,221
その他	87,648	95,419
投資その他の資産合計	460,303	467,139
固定資産合計	4,302,987	4,593,815
資産合計	8,693,988	8,480,605



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,324	176,697
短期借入金	2,493,960	2,660,890
1年内返済予定の長期借入金	9,921	-
リース債務	37,426	129,681
未払金及び未払費用	1,121,600	1,001,612
未払法人税等	12,218	14,897
賞与引当金	112,401	115,681
役員賞与引当金	1,749	2,733
その他	17,274	10,725
流動負債合計	4,155,875	4,112,918
固定負債		
リース債務	695,945	631,478
長期未払金	5,970	-
繰延税金負債	62,231	84,837
退職給付に係る負債	30,024	37,170
固定負債合計	794,171	753,486
負債合計	4,950,046	4,866,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,000	715,000
資本剰余金	621,796	621,796
利益剰余金	1,589,348	1,386,070
自己株式	△1,808	△1,808
株主資本合計	2,924,336	2,721,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,575	2,104
為替換算調整勘定	△62,916	77,941
退職給付に係る調整累計額	△33,336	△47,940
その他の包括利益累計額合計	△87,677	32,106
非支配株主持分	907,282	861,037
純資産合計	3,743,941	3,614,201
負債純資産合計	8,693,988	8,480,605

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	5,779,074	6,130,526
売上原価	5,408,636	5,759,473
売上総利益	370,438	371,052
販売費及び一般管理費	600,424	666,878
営業損失(△)	△229,986	△295,826
営業外収益		
受取利息	3,422	4,300
受取配当金	1,651	1,335
為替差益	-	45,364
助成金収入	46,182	-
その他	9,338	14,407
営業外収益合計	60,595	65,408
営業外費用		
支払利息	43,802	55,209
為替差損	14,759	-
その他	1,862	3,188
営業外費用合計	60,424	58,397
経常損失(△)	△229,815	△288,815
特別利益		
固定資産売却益	7,179	372
投資有価証券売却益	490	-
特別利益合計	7,670	372
特別損失		
固定資産売却損	-	3,942
固定資産除却損	34,512	8,273
減損損失	-	708
割増退職金	-	1,039
事業構造改善費用	142,040	-
借入金繰上返済費用	16,441	-
特別損失合計	192,993	13,963
税金等調整前当期純損失(△)	△415,139	△302,405
法人税、住民税及び事業税	5,355	6,858
過年度法人税等	△586	-
法人税等調整額	△113	24,501
法人税等合計	4,655	31,360
当期純損失(△)	△419,795	△333,765
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△75,541	△130,487
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△344,253	△203,278

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純損失(△)	△419,795	△333,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,008	△6,470
為替換算調整勘定	35,670	225,100
退職給付に係る調整額	19,030	△14,604
その他の包括利益合計	60,709	204,025
包括利益	△359,085	△129,740
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△297,076	△83,495
非支配株主に係る包括利益	△62,008	△46,245

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余金	自己株式	株主資本合 計	その他有 価証券 評価差額 金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計 額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	715,000	621,796	1,933,602	△1,808	3,268,589	2,566	△85,054	△52,366	△134,854	969,291	4,103,026
当期変動額											
剰余金の配当			-		-						-
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△344,253		△344,253						△344,253
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					-	6,008	22,137	19,030	47,176	△62,008	△14,831
当期変動額合計	-	-	△344,253	-	△344,253	6,008	22,137	19,030	47,176	△62,008	△359,085
当期末残高	715,000	621,796	1,589,348	△1,808	2,924,336	8,575	△62,916	△33,336	△87,677	907,282	3,743,941

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余金	自己株式	株主資本合 計	その他有 価証券 評価差額 金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計 額	その他の包 括利益累 計額合計		
当期首残高	715,000	621,796	1,589,348	△1,808	2,924,336	8,575	△62,916	△33,336	△87,677	907,282	3,743,941
当期変動額											
剰余金の配当			-		-						-
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△203,278		△203,278						△203,278
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					-	△6,470	140,858	△14,604	119,783	△46,245	73,538
当期変動額合計	-	-	△203,278	-	△203,278	△6,470	140,858	△14,604	119,783	△46,245	△129,740
当期末残高	715,000	621,796	1,386,070	△1,808	2,721,057	2,104	77,941	△47,940	32,106	861,037	3,614,201

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△415,139	△302,405
減価償却費	379,541	385,374
減損損失	-	708
有形固定資産除却損	34,512	8,273
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△47,470	△9,245
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,410	3,647
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,602	3,280
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,857	984
受取利息及び受取配当金	△5,073	△5,636
支払利息	43,802	55,209
為替差損益 (△は益)	△25	△128
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7,179	3,569
投資有価証券売却損益 (△は益)	△490	-
割増退職金	-	1,039
事業構造改善費用	142,040	-
借入金繰上返済費用	16,441	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△249,164	330,833
棚卸資産の増減額 (△は増加)	211,105	△57,230
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,063	△151,065
未払金の増減額 (△は減少)	△191,576	△535,247
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	26,957	38,925
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	119,567	△70,528
小計	80,861	△299,641
利息及び配当金の受取額	5,077	5,636
利息の支払額	△40,542	△57,419
割増退職金の支払額	△3,008	△1,039
事業構造改善費用の支払額	△142,040	-
借入金繰上返済費用の支払額	△16,441	-
法人税等の支払額	△7,329	△3,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,422	△355,930
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	150,000	-
有形固定資産の取得による支出	△612,013	△54,360
有形固定資産の売却による収入	16,743	473
無形固定資産の取得による支出	△675	△750
投資有価証券の取得による支出	△248	△251
投資有価証券の売却による収入	905	-
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	8,235	△4,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△437,053	△59,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,598,605	112,600
長期借入金の返済による支出	△1,117,972	△9,921
リース債務の増加による収入	495,247	-
リース債務の返済による支出	△83,326	△40,414
配当金の支払額	△239	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	892,315	62,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,405	28,008
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	351,245	△325,162
現金及び現金同等物の期首残高	825,492	1,176,738
現金及び現金同等物の期末残高	1,176,738	851,575

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	当連結会計年度 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
日本	4,853,078
米州	869,271
アジア	408,175
顧客との契約から生じる収益	6,130,526
その他の収益	—
外部顧客への売上高	6,130,526

(注) 当社グループは、自動車用部品事業の単一セグメントであるため、顧客との契約から生じる収益を分解した情報についてセグメントに関連付けて記すことはしていません。

## (セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、自動車用部品事業のみの単一セグメントであり、セグメント情報の記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	473.16円	459.23円
1株当たり当期純損失(△)	△57.42円	△33.91円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△344,253	△203,278
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△344,253	△203,278
期中平均株式数(株)	5,995,173	5,995,173

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. その他

### 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・ 退任予定取締役(監査等委員である取締役)

取締役 監査等委員(社外) 法務人 稔

③ 変動予定日

2022年6月21日